

一 米國ニ於テ移民制限法制定一件 四三

territory other than Siberia which is not included in the Asiatic Barred Zone. Persons born in Siberia are included in the Russia quota.)	6	78	16
Africa	9	120	24
Australia	21	271	54
New Zealand	4	50	10
Atlantic Islands (other than Azores, Madeira, and islands adjacent to the American Continents)	5	60	12
Pacific Islands (other than New Zealand and islands adjacent to the American Continents)	2	22	4
TOTAL	27,298	355,825	71,163

附 日本人ノ帰化権問題

間右新聞切抜何等御参考迄及御送附候 敬 具
本信写送附先 在米大使

註 新聞切抜省略

四四 五月十五日 在シアトル佐藤領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

山下河野兩名ハ土地所有会社設立認可ノ申請書
受理ヲ拒否セラレタルニ付華州大審院ニ右受理
強制命令ノ申請ヲ為スコトナリタル件

附 記一 大正九年十二月二十二日内田外務大臣発在

桑港太田総領事宛電報第一四〇号

小沢帰化訴訟其後ノ成行問合ノ件

二 大正九年十二月二十三日在桑港太田総領事

発内田外務大臣宛電報第四七三号

小沢訴訟事件ニ関スル件

第八三号 (五月十六日接受)

合衆国第一及ビ第二帰化証ヲ有スル山下卓爾及ビ河野兵三
郎ハ土地所有会社設立認可ヲ当州政府ニ申請シタル処國務
卿ハ右会社ノ役員ガ日本人ナルノ理由ニテ右申請書ノ受理
ヲ拒絶シタルヲ以テ兩人ハ当地弁護士「シヤンク」ヲ代理

一 米國ニ於テ移民制限法制定一件 四四

四三 二月十四日 在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛

從軍日本人帰化権問題ニ対スルウィルソン勞

働卿意見ニ関スル件

公第九四号 (三月十日接受)

大正十年二月十四日

在桑港

総領事 矢田 七太郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

從軍日本人ノ帰化権問題ニ対スル「ウィルソン」勞働
卿ノ意見ニ関スル新聞記事送附ノ件

十一日「サクラメント、ビー」紙ノ報スル所ニヨレハ米國
軍隊ニ從事セル日本人ノ帰化問題ニ対シ「フィーラン」ヨ
リ「ウィルソン」勞働卿ニ宛テ質問書ヲ送り勞働卿ハ右ニ
對シ「一九一八年帰化法ハ白人種及「アフリカ」生レノ人
種以外ノ外国人(但シ比律賓人ヲ除外ス)ノ帰化ニ関シテ
ハ何等規定スル所ナシ從テ本件日本人帰化問題ニ関シ紛議
ヲ生シタル場合ニハ最高法院ノ最終決定ヲ俟ツガ為メ「テ
スト、ケース」ヲ持出スヘシ云々」ト回答セル趣ニ有之候

人トシテ当州大審院ニ受理強制命令ノ申請ヲ為スコトナ
レリ右ニ付専ラ衝ニ当リ居レル山岡音高ノ語ル所ニ依レバ
右土地会社ハ全然架空ノモノニシテ初メヨリ不受理ヲ予期
シ居リ当州大審院ニ於テ敗訴シタル上ハ直ニ合衆国大審院
ニ控訴シ客年十二月桑港發大臣宛電報第四七三号小沢訴訟
ノ「パラレル、ケース」トシテ日本人ノ帰化権ノ有無ヲ合
衆国最高裁判所ノ判決ニ依リテ決定セントスルモノニテ控
訴ノ上ハ弁護士トシテ「ウィツカーシャム」ニ依頼シ既ニ
同人ノ諒解ヲ得居レリ前記山下ハ千九百四年当州ピアース
郡ニテ第二帰化証ヲ得居リ当州大学出ノ法学士ニシテ先年
弁護士タラントシテ当州大審院ニ争ヒタルモ日本人タルノ
故ヲ以テ之ニ敗レタルコトアリ又河野ハ千九百三年当州
「アウトカム」州ニ於テ第二帰化証ヲ得現ニ「モンタナ」
州ニアリテ毎回選舉ノ際市民トシテ投票ヲ為シ居レル趣右
裁判ハ半年乃至一年以内位ニハ最終決定ニ至ルベシト云フ
尚上件ニ関スル客年十二月大臣發桑港宛第一四〇号及ビ桑
港發大臣宛第四七三号電報ハ桑港ヨリ在米大使及ビ在米及
ビ布哇各領事ヘ転電方依頼セリ

米、紐育、桑港、「シカゴ」「ポートランド」「ロス・ア

一 米國ニ於テ移民制限法制定一件 四四

ンゼルス」「ホノルル」へ転電セリ

註1 左掲ノ附記ニ参看

2 左掲ノ附記ニ参看

(附記一)

大正九年十二月二十二日内田外務大臣発在桑港太田総領事宛

電報第一四〇号

小沢帰化訴訟其後ノ成行問合ノ件

第一四〇号

予テ貴地日本人会ニテ斡旋中ナル小沢帰化訴訟其後ノ成リ
行キ至急回電アリ度シ

(附記二)

大正九年十二月二十三日在桑港太田総領事発内田外務大臣宛

電報第四七三号

小沢訴訟事件ニ関スル件

第四七三号

(十二月二十四日接受)

貴電第一四〇号ニ関シ本件ハ客年三月拙電第三二号所報後
(註)
何等發展ナキ処小沢ノ弁護人「ウィツカーシャム」(「タフ
ト」時代ノ司法長官)ハ「モレナ」事件ノ解決ニ照ラシ小
沢ノ事件ハ一種ノ「ムート、ケース」ナルガ故ニ訴訟継続

旨弁護士 Wilkashan ヨリ在米日本人会ニ電報アリタリ

大臣ニ電報セリ

四五 五月二十五日

在シアトル佐藤領事代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

華州大審院ハ山下訴訟ノ受理ヲ拒絶シタル件

第八七号

(五月二十六日接受)

往電第八三号ニ関シ

当州大審院ハ五月二十日山下訴訟受理ヲ拒絶シタリ右ハ先
年当州弁護士タラントシテ之ヲ争ヒ同院ニ於テ敗訴シ今回
訴訟ハ之ト同一「ケース」ナルノ故ヲ以テナルカ如シ故ニ
關係弁護士「シャंक」ハ合衆国大審院ニ訴訟提起方ニ付
在紐育「ウィツカーシャム」ト打合せ中ナリ不取敢
在米大使並在米各領事及在「ホノルル」領事へ郵送セリ

一〇〇

ノ利益ナシトノ意見ヲ有スル由ナルニ付小沢ハ右ニ拘ラズ
飽迄訴訟続行ヲ希望シ居ルヤニ伝フルモ帰化訴訟トシテハ
新ニ事件ヲ起スヨリ外ナカラムト思ハル

因ニ「モレナ」事件トハ一九〇六年ノ帰化法上該法制定以
前ニ帰化意思ヲ表示セルモノ(第一帰化証ヲ得タルモノ)

ハ該法律制定後遅クモ七年内ニ市民権獲得ノ請願(即チ第
二帰化証請求)ヲ要スルノ理由ニ基キ「モレナ」ノ敗訴ニ
帰シタルモノナル処之ヲ小沢事件ニ就テ考フルニ同人ノ第
一帰化証請求ハ一九〇二年ニシテ第二帰化証ノ請願ハ一九
一四年ナル為「ウィツカーシャム」ハ結局前頭ノ断定ヲナ
セルモノト思ハル而シテ該訴訟事件ハ在「シアトル」山岡
音高専ラ之ニ当リ居ルニ付正確ナルコト又ハ右以上ノコト
ハ広田領事ヲシテ取調ヘシメラルル方適當カト存ス

貴電及本電參考トシテ「シアトル」へ転電セリ

註 大正八年三月九日在桑港太田総領事発内田外務大臣宛電報

第三二第号全文左ノ通り

「在米大使へ左ノ通り

小沢ノ帰化事件ハ来週大審院ニ於テ審理セラルル筈ナリシ
モ司法省 Solicitor General ノ要求ニ依リ延期セラレタル

四六 八月八日

在桑港矢田総領事ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

小沢孝雄ノ帰化訴訟審理開始ノ件

第二八九号

(八月九日接受)

華盛頓発本官宛電報第一五一号

「ヒラデルフィヤ、パブリック、レッジャー」華府支局員
ハ八月六日同紙上ニ「タフト」司法院長執務始メノ当日タ
ル十月三日ヲ以テ愈々小沢孝雄帰化訴訟ノ審理ヲ開始スベ
シト云フ

大臣及沿岸各領事へ転電アリタシ